

JGA ゴルフ規則と以下の道後ゴルフ倶楽部ローカルルールを適用する。

別途規定がなければ、ローカルルールの違反の罰は 2 罰打とする。

1. アウトオブバウンズ ‹ 規則 18.2 ›

- (a) アウトオブバウンズの境界は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- (b) 下記ホールで第 1 打が紛失球、またはアウトオブバウンズとなった場合は、前方特設区域（ティーアップできる）より第 4 打としてプレーしなければならない。ただし三大競技および選手権競技においては適用しない。ホール No. 1・2・4・6・7・8・9・10・11・12・13・17
- (c) 紛失球やアウトオブバウンズの球についてストロークと距離の処置に代わる選択肢
プレーヤーの球が見つからない、あるいはアウトオブバウンズであることが分かっている、または事実上確実な場合、そのプレーヤーはストロークと距離の処置に基づいて処置するのではなく、2 罰打を受け、救済エリアに元の球か別の球をドロップすることによって救済を受けることができる。（ローカルルールひな型 F-5 適用）

2. ペナルティーエリア ‹ 規則 17 ›

- 16 番ホールのペナルティーエリアに球がある場合、プレーヤーは次のいずれかを選択してプレーすることができる。
- 規則 17.1 に基づき救済を受ける。
 - 1 罰打で元の球か別の球を前方特設区域（ティーアップできない）にあるドロップゾーンにドロップする。このドロップゾーンは規則 14.3 に基づく救済エリアである。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む） ‹ 規則 16 ›

- (a) 修理地
青杭を立て白線で囲まれた区域によって定められる。
- (b) 動かさない障害物
排水溝はジェネラルエリアの動かさない障害物として扱われ、ペナルティーエリアではない。（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にある排水溝）
人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。

4. 練習 ‹ 規則 5.2 ›

- プレーヤーは 2 つのホールのプレーの間、次のことをしてはならない
- 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
 - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

注 道後ゴルフ倶楽部ではノータッチプレーを原則としております。

※ ローカルルールの追加変更は、随時クラブハウス内に掲示して告知する。